

たかしま市民協働 交流センターだより

21号

2013年10月発行

特集 助成金を活用してみよう！



平成25年度 協働提案事業
集落の未来を創る若者定住促進事業

特定非営利活動法人 結びめ

連絡先：TEL：090-5014-1600 FAX：0740-36-1661
URL：http://www.musubime.tv/

INDEX

- 特集 助成金を活用してみよう！
～団体やグループのステップアップのために～
- たかしまの元気！企業 ～田中建材株式会社～
自然環境、人、社会のハーモニー（調和）をテーマに
- たかしま市民活動フェスタ2013
～ひびきあう“わ”をつなげよう～
- いろいろやっています！in たかしま
市内でがんばっているNPOや市民活動団体を紹介
- インフォメーション

自然豊かな高島市に興味がある人と高島市に暮らす人が、集落作業の体験をとおして、交流を深め、移住の受入れにつながることをめざし、高島市協働提案事業として取り組まれています。若者が減る中で集落の作業や祭りの継続が難しくなっている現実。空き家や古民家を活用した、地域とつながる暮らしにそこがれる都会の人。「これらを結びつけたい」との思いで、『集落作業のお手伝いをさせていただける区・自治会を募集します！』とチラシを市内各自治会へ配布したところ、3地区から申し込みがありました。7月、朽木生杉地区と今津町天増川地区で大津や京都など市外の方と地域の方が一緒に川掃除や草刈り作業を行いました。11月3日にはマキノ町辻で里山整備作業が行われます。冬には雪おろし体験など、年間を通じて継続的な交流を考えています。地域を支える仕組みも視野に入れ、地域の内と外の交流を進めています。

INFORMATION

市民による、市民のための

たかしま・未来・円卓会議

参加者募集中！

市民一人ひとりが高島の未来を考え、意見交換をする「たかしま・未来・円卓会議」では、10月から「地域資源の活用とまちづくり編」を開催します。ご参加お待ちしております。

第5回 たかしま・未来・円卓会議 地域資源の活用とまちづくり編 その1

日時 10月6日(日) 13:30～16:30
場所 今津東コミュニティセンター
内容 歴史ある豊郷町で近江商人の古民家や蔵を活用し、地域コミュニティの活性化に取り組むNPO法人とよさとまちづくり委員会から、まちづくりのヒントを聞き、高島で取り組めることについて話し合います。

第6回 たかしま・未来・円卓会議 地域資源の活用とまちづくり編 その2

日時 11月9日(土) 13:30～16:00
場所 たかしままちづくりセンター
内容 地域の資源を活かして観光や活性化に取り組む「高島びれっじ」や地域の誰もが安心して住めるまちづくりに取り組むNPO法人元気な仲間のお話を聞き、私たちができることを考えます。

第7回 たかしま・未来・円卓会議 地域資源の活用とまちづくり編 その3

日時 12月14日(土) 13:30～16:30
場所 今津東コミュニティセンター
内容 高島市の地域資源を活かす取り組みや高齢化社会への対応などについて聞き、一人ひとりができるについて話し合います。

お問い合わせ・申込は、たかしま市民協働交流センターまで

たかしま市民活動フェスタ2013

～ひびきあう“わ”をつなげよう～

たかしま市民活動フェスタは、市民活動団体との出会いの場です。出会い、知ることでたくさんのつながりを広げたいと開催します。みなさんでお越しください。

日時 10月19日(日) 10:00～15:30

会場 今津東コミュニティセンター



詳細は本誌5ページをご覧ください。

編集 後記

イベントが盛りだくさんの季節になりました。市民活動団体の方々も忙しい毎日を送っておられることと思います。10月19日(土)は「たかしま市民活動フェスタ2013」を開催します。この日に向け、様々な活動団体やボランティアグループが何度も会議を重ねアイデアを出し合いながら、それぞれの活動を紹介し、発表する場を作り上げてきました。ぜひ、ご家族やご友人をお誘い合わせの上、ご来場ください。

シイタケづくり再興

～クヌギの伐採～雑木林の再生体験～

辻集落の人々はシイタケづくりをとおして、雑木林の手入れを行い、美しい景観と生き物があふれる環境を守ってきました。地域の方と共に汗を流して交流し、地域の魅力を発信する方法について考えましょう。

日 時	11月3日(日) 9:00～12:00
場 所	高島市マキノ町辻集落
集合場所	久昌庵(マキノ町辻集落のお寺)
集合時間	駅から送迎希望の方8:30(JR 湖西線マキノ駅) 現地集合の方9:00(久昌庵)
定 員	10名(申込順)
参加費	1,000円(昼食代、保険代、資料代を含む)

申込方法

NPO法人「結びめ」まで
①氏名 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス
⑦マキノ駅からの送迎の有無をご連絡ください。
参加者には詳細案内を送付します。

特定非営利活動法人 結びめ
〒520-1121 滋賀県高島市勝野1108-3
TEL 090-5014-1600 FAX 0740-36-1661
E-mail: info@musubime.tv URL: http://www.musubime.tv/

高島市 市民劇2013

「木槿の花の咲く頃 ―清水安三物語―」
地域で生きる人々による、未来への活力づくり。

清水安三先生は高島市新旭町北畑の生まれ。戦時中の中国・北京で貧しい子どもたちのために学校を設立、民族を分け隔てることなく教育活動を行いました。戦後日本に帰国、そこから東京に桜美林大学を創設。その教育にかけた生き様を舞台からお届けします。

日 時	12月7日(土) 18:30 開演 12月8日(日) 14:00 開演
場 所	高島市藤樹の里文化芸術会館
料 金	一般 1,000円(当日 1,200円) 高校生以下 500円(当日 700円)
販売箇所	藤樹の里文化芸術会館、高島市民会館、 ガリバーホール、マキノ土に学ぶ里研修センター、 今津東コミュニティセンター、新旭公民館、 安曇川公民館、やまびこ館

市民劇上演実行委員会事務局
〒520-1224 高島市安曇川町上小川106
(藤樹の里文化芸術会館内)
TEL 0740-32-2461 FAX 0740-32-2460
E-mail: bungei@city.takashima.shiga.jp

◆ このページに関する ご応募・お問合せ
たかしま市民協働交流センターまで、お気軽に
お問合せください。

発行／たかしま市民協働交流センター

〒520-1622 滋賀県高島市今津町中沼 1-4-1
(今津東コミュニティセンター内)
TEL／0740-20-5758 FAX／0740-20-5757
MAIL／webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp
http://tkkc.takashima-shiga.jp/ facebook
http://tkkc.shiga-saku.net/ twitter
業務時間／祝日を除く月～金曜日 9時～17時

特集

助成金を活用してみよう！

「団体やグループのステップアップのために」

市民活動やボランティア活動として活動を開始した時、活動に必要な資金はどうやって集めていきますか？会員に案内を送ったり、ボランティアで連絡を取り合ったり、勉強会をしたり、どんな活動にも経費はかかります。団体やグループのステップアップのために、助成金を活用してみませんか？

市民活動の資金について

市民活動やボランティア活動でも資金集めは重要です。「ボランティアだから・・・」と、いつも誰かが負担しているという状態では、継続的な活動は難しくなってきます。

市民活動の資金は、主に次の5つがあります。

① 会費

定期的、継続的に収入が見込まれ、安定した資金源の一つ。使い方は自由ですが、会員へのニュースレター送付や報告、事務局の運営に多くを使うことになります。

② 寄付金

団体の目的や事業に共感した人から見返りを求めずに提供される資金。団体全般の活動に使える場合と使う事業を指定している場合があります。

③ 事業収入

物品の販売やサービスの提供による収入。継続的に収益を出すためには専門性や投資が必要な場合もあり、リスクを考慮に入れて計画する必要があります。

④ 助成金・補助金

一般的に、助成金は民間の助成財団などから提供され、補助金は国や地方自治体から提供されるものとされています。この資金は採択された事業にのみ使うことができ、使える範囲などに制約があります。

⑤ 委託金

国や地方自治体、企業などから事業の調査・研究・施設管理などを受託して得られます。使い方は確定しています。

市民活動は、多様な収入源を持つことで安定した運営につながります。団体やグループの規模や実態に合った資金集めが必要です。助成金は団体の規模や段階に応じて選ぶことができます。活動を続け、実績ができると活動を理解し、参加する会員や応援する寄付を増やすこともできます。

＜助成金情報＞

主に福祉関係の助成金情報があります。

- 高島市社会福祉協議会
電話：0740-36-8220
URL: <http://takashima-shakyo.or.jp/>
ブログ: <http://borasen.shiga-saku.net/>
- 滋賀県社会福祉協議会
電話：077-567-3920
URL: <http://www.shigashakyo.jp/>
分野を問わず助成金情報があります。
- 淡海ネットワークセンター
電話：077-524-8440
URL: <http://www.ohmi-net.com/>
- 公益財団法人助成財団センター
電話：03-3350-1857
URL: <http://www.jfc.or.jp/>

事業内容と支援内容が合う助成を探します。助成する財団など（助成財団）は、それぞれの目的に合った事業へのみ支援を行います。助成の募集要項をじっくりと読み、助成の目的を理解することが大切です。助成財団が過去にどのような事業に助成しているかを知ること、も参考になります。直接、問い合わせで分からない点などを聞くこともできます。

助成情報は、インターネットで探すことをお勧めします。申請書式などもインターネットから入手するものが多くなっています。

ただし、組織的な運営がされていることを条件としていることがほとんどです。提出書類として左記の3点が必要となることが多いです。

- ・ 定款あるいは会則
- ・ 役員の名簿
- ・ 年間の事業報告や決算
- ・ 年間の事業計画や予算

助成金の申請では、申請書を提出し、書類審査があり、時にはプレゼンテーションで事業について直接説明する場合もあります。

助成財団は、申請された事業が助成の目的に合っているかどうか、助成することで社会にどのような効果があるのか、事業の実施力があるか、などに注目して審査をします。

申請書では、以下のポイントをまとめて記載しましょう。

- ・ 団体の活動内容
- ・ 申請する事業の内容
- ・ 申請する事業が社会や地域にもたらす効果
- ・ 申請する助成を選んだ理由
- ・ 申請する事業の今後の展望

団体やグループの中で確認しながらまとめることで、事業についてお互いの理解がより深まります。また、申請書は団体やグループの中だけでなく、外部の人にも読んでもらい、客観的な

事業の目的に合った

助成金を探すために

実施したい事業について、整理してみてください。

「なぜ、今、実施する必要があるのか？」
社会や地域的な背景や現状を分析して、事業を行うことでどのような成果をめざすのかを考えます。

「どのように事業を行うのか？」

事業の内容と実施するための体制、スケジュールなどを考えます。

例えば、講演会やフォーラムなどで取り組む課題について広く市民に知ってもらう事業であれば、準備や調整、広報などについてスケジュールを作り、どんなメンバーで実施するのかを考えます。

地域の高齢者などのサロンを定期的に開催する事業であれば、サロンの開催日だけでなく、会場調整から呼びかけなどもスケジュールに入れていきます。

「どのような助成を必要としているのか？」

経費的な支援を受ける場合は、いくら必要なのかを具体的に計算します。また、技術的な支援、パソコンや消耗品など物品での支援、アドバイスの支援など、事業を実施する上で何を必要としているのかを考えます。

感想を聞くことで、伝わりやすい内容にしていることができます。

助成を受ける事になったら、ほとんどの場合、事業終了後には報告書を提出することになります。申請した内容やスケジュール、事業の成果、事業を進める上での課題などについて、自己評価をしておきましょう。

助成金は、申請する事業の資金確保だけに目が行きがちですが、この事業によって団体やグループが「今後、どのように活動を進めるのか？」についてより具体的に検討する機会にしたいだけだと思います。

また、助成を申請しても支援を受けられないこともあります。その場合も、どんな点で採択されなかったのかを助成財団に問い合わせ、次の助成申請の参考にする機会と考えてみてください。



「助成金申請書の書き方講座」を開催します！

- ✓ 初めて助成金申請をされる方
 - ✓ 高島市協働提案事業に申請をお考えの方
 - ✓ いつか助成金を申請しようとお考えの方
- ご参加お待ちしております。

日時 10月2日（水）19：30～21：30

会場 新旭公民館 3-1会議室

詳細は、たかしま市民協働交流センターまで

たかしま市民活動フェスタ2013

～ひびきあう“わ”をつなげよう～

「たかしま市民活動フェスタ」とは

『であい・きっかけ・つながり』をメインテーマに

- 市民活動団体が互いに知り合い、市民活動団体と市民とのであいの場をつくります。
- 市民活動を知るきっかけをつくります。
- 出会い、知ることで、つながりが生まれる場とします。



高島市で活動する市民活動団体やボランティアグループが集まり、みんなでアイデアを出し合い、企画を練って活動への思いを紹介し、来場のみなさんと交流する1日です。

市民活動団体やボランティアグループは、誰もが安心して暮らせる町にしたい。心なごむ花いっぱい町づくりをしたい。子どもたちが自然体験をとおして心豊かに成長してほしい。高島の魅力を日本中に発信したい。女性の社会参加を広げたい。など、さまざまな活動をしています。

フェスタでは、各団体やグループが体験などをとおして活動の紹介をしたり、パフォーマンスで発表したり、得意の料理や手工芸品などの販売でアピールしたり、楽しい企画を準備しています。

ご家族、お友達、みなさんでお越しください！

日時 2013年 **10月19日** (土) 10:00～15:30

会場 今津東コミュニティセンター

主催 たかしま市民活動フェスタ2013実行委員会
たかしま市民協働交流センター

昨年の様子



地域を支える協働のパートナー、高島の地域を盛り上げる企業をご紹介します。

たかしまの元気！企業

自然環境、人、社会のハーモニー(調和)をテーマに

－田中建材株式会社－ 代表取締役 田中 稔さん



環境に関する表彰を毎年のように受賞され、最近では、環境配慮商品の普及を目的とした(公財)日本環境協会のエコマークアワード2012を受賞された田中建材株式会社。環境へのこだわりの源や地域への思いを代表取締役 田中 稔さんにお聞きしました。

■世界の現状を知ったことから環境にこだわってきました。

◆環境に関する受賞を続けてこられたきっかけは为什么呢？

35歳の頃、日本青年会議所の世界会議に参加しました。そこで世界の現状を知りました。

日本のような物に溢れた暮らしをしている国は世界では少数派で、多くの国々は厳しい社会状況の中にあります。さらに、日本の暮らし方は世界の環境に影響を与えています。環境との調和、保全こそが大切だと感じました。

父から会社を受け継いだ時、環境で地域一番の企業になろうと決意し、2000年から毎年環境に関する受賞を目指してきました。

現在、事業として最も力を入れているのは解体廃材や間伐材を利用する木質加熱アスファルト舗装です。

地域で出る廃木材を活用することで1000㎡あたり6.5トンのCO₂が固定できます。

従来の舗装より蓄熱が少ないので、都市部ではヒートアイランド対策にもなります。

日本中の道路で利用されることを目標にしています。

■心の教育、心の進化を目指して

◆子どもたちの森林体験活動もしておられますね？

2005年から、市内の建設関係企業5～6社で、市民活動として「高島・森林(もり)と住まいのネットワーク」を設立しました。子どもたちに森林の良さ、大切さを感じてもらいたいと、小学生を対象に森林の勉強会や森に建つ家をテーマに絵画コンクールを開催しました。

間伐体験、夢の家づくりなどをとおして、子どもたちに森林で心に残る体験をしてほしい、環境とのつながり、人とのつながりの大切さを感じてほしいと活動しています。

地球環境が危機に面している今、自然環境が人間に問いかけている気がします。おとなも、子どもも、自然環境の大切さ、調和やつながりの大切さを学ぶ心の教育が必要です。人々が団結して、心を進化させないとこの危機は乗り越えられないのではと思っています。

田中建材株式会社
〒520-1621 滋賀県高島市今津町今津1677-14
TEL:0740-22-0217 FAX:0740-22-1349
メールアドレス:TANAKA@tanakakenzai.co.jp

田中さんのお話を聞いていると「Think Globally, act locally(世界のことを考えて、地域で行動しよう)」という言葉が浮かんできます。将来は、アフリカやアジアで土のうを使って現地の人とともに道づくりを行うNPO法人道普請人の活動に参加したいとのことでした。いつも世界を視野に日々活動されています。

いろいろやってます！ in たかしま

ここでは、市内のNPO、特徴的な活動のまちづくり団体や自治会が、どのようなきっかけで地域の課題に気付き活動を始めたのか、また活動の輪を広げていったのか、など、活動を展開する上での喜びや課題、これからのビジョンなどを取材して紹介します

あせらず、ゆっくり、地域の助け合いの輪を広げたい

生活支援ボランティアでんでん虫



高島市朽木は高齢化率35%の地域。誰もがいつまでも安心して暮らせる地域をみんなで作えようと、生活支援ボランティアでんでん虫が3年前に始まりました。きっかけは、平成22年7月に高島市社会福祉協議会（以下、「高島社協」）が呼び掛けたボランティア懇談会。朽木地域で活動するボランティアグループが活動の枠を超えて、できることで暮らしを支え合う仕組みをつくらんと、15名が集まりました。

まず、連絡先は高島社協として「生活の中のお困りごとなどお手伝いします。ご連絡ください！」とチラシを全戸に配布しました。しかし、遠慮されるのか最初はなかなか依頼が無かったそうです。代表と会員と一緒に高齢者を訪問し、顔見知りになり、信頼感ができて、やっとお困りごとが出てくるようになったそうです。今では80代以上の方からの依頼に対し、58～80歳の会員25名が、庭の草刈り、障子の張替、お話し相手、買い物支援、除雪などに対応しております。

やりがいのある、暮らしを支えるボランティアを広めたい

会員の学びとして東近江市永源寺の生活支援サポーター「絆」との交流や認知症研修会などを持ち、毎月定例会を開いて、活動の報告や情報交換でお互いの思いを話し、親睦を深め、楽しく続くボランティアを目指しております。

代表の泉さんは、「支援した高齢の方から、来てもらって良かった。と言われると次のがんばりにつながります。支援者の喜びがボランティアの喜びです。男性会員は5名ですが、男性にこそボランティアを勧めたい。元気な今だからできることで、幸せを感じられることを伝えたいですね」と話されます。朽木の元気な男性のみなさん、ご参加いかがですか！



生活支援ボランティアでんでん虫

- 高島市朽木市場676 高島市社会福祉協議会 朽木ふれあいセンター内
- 会員数 / 25名
- 設立 / 平成22年(2010年)
- 代表者 / 泉 婦美子

● 連絡先
電話 0740-38-2607
事務局 宮田 まで

アマチュア無線だからできる災害支援

高島アマチュア無線非常通信ネットワーク

今回、「活動を広く知ってもらいたい」というご依頼を受け、「高島アマチュア無線非常通信ネットワーク」の安原文雄さんと川添宏司さん、谷口繁雄さんの3名の方にお話を聞かせていただきました。



アマチュア無線とは「金銭上の利益のためではなく、もっぱら個人的な無線技術の興味によって行う自己訓練、通信及び技術的研究の業務をいう」と定められており、仕事や事業などのためでなく個人の趣味として行う無線通信のことです。

ふだんは自宅から電波を出したり車に無線機を積んでの移動運用、モトス通信やパソコンを用いたパケット通信やビデオカメラの映像を電波に乗せて送り出すアマチュアテレビなどを楽しんでおられます。



災害に強いアマチュア無線

無線機さえあれば、いつでも国内・海外とも直接交信できるアマチュア無線は地震や台風など災害時の通信手段として有効です。東日本大震災でも電話回線が壊滅状態の中で情報収集・伝達にアマチュア無線が大活躍しました。



平成7年の阪神淡路大震災を機に高島市のアマチュア無線家のなかで災害救助などに貢献できる組織の必要性が認識され、平成19年8月「高島アマチュア無線非常通信ネットワーク」を設立。平成20年には高島市と災害時応援協定を締結しました。

「高島アマチュア無線非常通信ネットワーク」では、いざという時に備えて防災訓練への参加、設備見学などの会員研修や親睦行事などを行っております。

会員は30代から70代の28名ですが、アマチュア無線局を開設しておられる方に参加していただいて、その輪を更に広げていきたいとのことでした。



高島アマチュア無線非常通信ネットワーク

- 高島市安曇川町田中322
- 会員数 / 28名
- 設立 / 平成19年(2007年)
- 代表者 / 安原 文雄

● 連絡先
電話 0740-32-2039

山の恵み、地域ならではの資源を活かす

NPO法人クマノヤマネット

平成10年、新旭町饗庭地域の農業の活性化と都市農村の交流を目的に、地元の有志5人が【饗庭里山の会】を設立。平成16年に【NPO法人クマノヤマネット】を設立されました。その1年後に【新旭里山体験交流館 もりっこ】の指定管理を受け、琵琶湖の見える里山として、市内外の人々に様々な体験や交流の機会を提供しております。



森林の荒廃や田園の耕作放棄などの地域課題が顕在化しはじめた頃、新旭町と交流都市である大阪市旭区から「子ども達に農業体験をさせたい」という要望があり、都市の子ども達との交流が始まったと、事務局の饗庭英隆さんはおっしゃいます。

人のつながりと、地域貢献

現在、当初から続けている森林整備や農業体験のほか、蕎麦打ち体験や自然観察会など積極的に活動しております。文献から伊吹町や今津町大供と新旭町日爪地区も蕎麦発祥の地と知り、13年前から日爪蕎麦の栽培に着手。「利益のない活動では続かない」と販売を始めると、口コミでおいしいと評判になり、京都のお店やベトナムへも輸出されるほどになったそうです。「人のつながりがあつてこそ出来ている活動。現在、施設では地元の小学生を対象とした学童保育で約40人を受け入れている。

里山体験交流館「もりっこ」は、里山から琵琶湖をまじかに望むことができ、環境学習をするには最適な場所」として活動を続けておられます。

課題は「若い人のボランティアが育たず、後継者をどうするか」だそうです。「ここでの体験を通じて、子ども達ができるお便りを読むのが、一番うれしい」と語る還暦を超えた饗庭さんの笑顔は、若い人に負けないくらい生き生きと力強く感じられました。



NPO法人クマノヤマネット

- 高島市新旭町饗庭3106番地6
- 会員数 / 10名
- 設立 / 平成16年(2004年)
- 理事長 / 中村 美重

● 連絡先
電話・FAX 0740-25-7582

